

徳川林政研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（一）

## 凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」～「尾七」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」～「尾四」は、昭和一〇年に財団法人尾張徳川黎明会（現在の財団法人徳川黎明会）によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」～「尾七」は、その後当研究所において整理された文書群である。本号では「尾張徳川家文書目録（一）」として、「尾一」の文書群のうち、史料番号一～三五〇までを収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、本号以降、「尾二」～「尾七」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④差出（または作成者・著者など）↓宛所、⑤形態・数量、⑥備考の六項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用した。一部については、以前に当研究所において付された番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を「」付きで直後に示した（なお、内題と外題が同じ場合には、「」の表記は省略した）。また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必

要に応じて表題の直後に「」付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、「」を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、およその作成年代がわかる場合には、（天保年間）、（江戸末期）、（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。刊本・写本の場合は、その史料が刊行または、書写された時点の年次を表記し、刊本のうち、後印本であることが明らかな場合のものについては、初版年次に続いて「」付きで後印年次を記した。

一 差出（または作成者・著者）↓宛所は、差出人または作成者などを矢印の前の部分に示し、宛所となっている人名を矢印の後の部分に記した。なお、差出人や宛所が多数のときは、初筆の者、または内容から判断して、最適の人名を一名掲出し、その他については、「他〇名」と略記した場合もある。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機の異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」、「縦・小」などと表記した。また、以前に当研究所において複数の史料を合綴して製本したものに關しては、「縦綴」「横綴」などと表記した。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など必要と思わ

れる事柄を\*印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・差出(または作成者)・備考(冒頭に※印を付した)の順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場合には、省略して表記している。

一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録掲載に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。内容調査、データ入力、および原稿化作業は、白根孝胤が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

| 代  | 諱   | 生没年月日                      | 藩主就任期間                        | 諡号<br>院号  | 実父<br>生母         | 正室(簾中)<br>継室                   |
|----|-----|----------------------------|-------------------------------|-----------|------------------|--------------------------------|
| 1  | 義直  | 慶長五年一月二八日、<br>慶安三年五月七日     | 慶長一二年閏四月二六日、<br>慶安三年五月七日      | 敬公<br>院号  | 徳川家康<br>御龜(相應院)  | 春姫(高原院、浅野幸長女)<br>佐井(貞松院)       |
| 2  | 光友  | 寛永二年七月二九日、<br>元禄一三年一〇月一六日  | 慶安三年六月二八日、<br>元禄六年四月二五日(隠居)   | 正公<br>瑞龍院 | 義直<br>尉(歡喜院)     | 千代姫(靈仙院、徳川家光女)                 |
| 3  | 綱誠  | 慶安五年八月二日、<br>元禄一二年六月五日     | 元禄六年四月二五日、<br>元禄一二年六月五日       | 誠公<br>泰心院 | 光友<br>千代姫(靈仙院)   | 新君(采珠院、広幡忠幸女)                  |
| 4  | 吉通  | 元禄二年九月一七日、<br>正徳三年七月二六日    | 元禄一二年七月一日、<br>正徳三年七月二六日       | 立公<br>円覚院 | 綱誠<br>下総(本寿院)    | 輔君(瑞祥院、九條輔実女)                  |
| 5  | 五郎太 | 宝永八年一月九日、<br>正徳三年一〇月一八日    | 正徳三年八月二九日、<br>正徳三年一〇月一八日      | 達公<br>真巖院 | 吉通<br>輔君(瑞祥院)    | 安己君(光雲院、近衛家熙女)                 |
| 6  | 継友  | 元禄五年二月八日、<br>享保一五年一二月二七日   | 正徳三年一〇月一八日、<br>享保一五年一二月二七日    | 暉公<br>晃禪院 | 綱誠<br>和泉(泉光院)    |                                |
| 7  | 宗春  | 元禄九年一〇月二六日、<br>明和元年一〇月八日   | 享保一五年一〇月二八日、<br>元文四年一月一三日(隠居) | 暉公<br>章善院 | 綱誠<br>梅津(宣揚院)    |                                |
| 8  | 宗勝  | 宝永四年六月二日、<br>宝曆一一年六月二四日    | 元文四年一月一三日、<br>宝曆一一年六月二四日      | 戴公<br>賢隆院 | 松平友著<br>繁(円珠院)   | 三姫(宝蓮院、徳川吉通女)                  |
| 9  | 宗睦  | 享保一八年九月二〇日、<br>寛政一一年一二月二四日 | 宝曆一一年八月五日、<br>寛政一一年一二月二四日     | 明公<br>天祥院 | 宗勝<br>嘉代(英巖院)    | 好君(転陵院、近衛家久女)                  |
| 10 | 斉朝  | 寛政五年八月二三日、<br>嘉永三年五月一三日    | 寛政一二年一月二九日、<br>文政一〇年八月一五日(隠居) | 順公<br>天慈院 | 一橋治国<br>彰君(乘蓮院)  | 淑姫(清湛院、徳川家斉女)                  |
| 11 | 斉温  | 文政二年五月二九日、<br>天保一〇年三月二六日   | 文政一〇年八月一五日、<br>天保一〇年三月二六日     | 僖公<br>良恭院 | 徳川家斉<br>瑠璃(青蓮院)  | 愛姫(琮樹院、田安斉匡女)<br>福君(俊恭院、鷹司政熙女) |
| 12 | 斉莊  | 文化七年六月一三日、<br>弘化二年七月二一日    | 天保一〇年三月二六日、<br>弘化二年七月二一日      | 懿公<br>大覚院 | 徳川家斉<br>蝶(速成院)   | 猶姫(貞慎院、田安斉匡女)                  |
| 13 | 慶臧  | 天保七年六月一五日、<br>嘉永二年五月七日     | 弘化二年八月二六日、<br>嘉永二年五月七日        | 欽公<br>顕曜院 | 田安斉匡<br>れい(青松院)  |                                |
| 14 | 慶勝  | 文政七年三月一五日、<br>明治一六年八月一日    | 嘉永二年六月四日、<br>安政五年七月五日(隠居)     | 文公<br>賢徳院 | 松平義建<br>規姫(貞證院)  | 矩姫(貞徳院、丹羽長富女)                  |
| 15 | 茂徳  | 天保二年五月二日、<br>明治一七年三月六日     | 安政五年七月五日、<br>文久三年九月一三日(隠居)    | 顕樹院       | 松平義建<br>みさを(陽清院) | 政姫(崇松院、丹羽長富女)                  |
| 16 | 義宜  | 安政五年五月二四日、<br>明治八年一二月二四日   | 文久三年九月一三日、<br>明治八年一二月二四日      | 靖公<br>隆徳院 | 慶勝<br>多満(禎正院)    |                                |

※「御家御統帳」「御日記」「御記録」(徳川林政史研究所所蔵)、『尾張徳川家系譜』(名古屋叢書三編)第一巻より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。

## 番号表題

年月日

差出(作成)→宛所

形態・数量

## 尾一 一 御用留

(天保一一、嘉永元年)

縦 三

第一冊 御用留上

(天保一一、同二三年)

御屋形御用部屋

※俊恭院(福君、一代藩主徳川斉温継室)の御用に関する留帳。

第二冊 御用留下ノ一

(嘉永元年正月朔日、八月朔日)

御庭頭

第三冊 御用留下ノ二

(嘉永元年八月朔日、二月)

御庭頭

## 尾一 二 内密御用留

(文政九、文久二年)

縦 六

\*挟み込み文書多数あり。

第一冊 内密御用留一

(文政九、同二二年)

御鷹匠組頭

第二冊 内密御用留二

(文政一二、天保四年)

第三冊 内密御用留三

(天保四年、同一年)

第四冊 内密御用留四

(天保一二、弘化四年)

第五冊 内密御用留五

(安政二、同五年)

第六冊 内密御用留六

(安政六、文久二年)

## 尾一 三 御用留挾

(明治二、同三年)

縦 一

\*「正二位様・御簾中様御座所等之図面」など、綴じ込み文書あり。

御用達

## 尾一 四 維学心院様御用留

天保一四年

縦 四

\*維学心院(琴姫・維姫)は高須藩主松平勝當の娘で九代藩主徳川宗睦の養女、左大臣近衛基前簾中。

第一冊 維学心院様御用留一

(天保一四年正月、四月)

御広敷御用部屋

第二冊 維学心院様御用留二

(天保一四年五月、八月)

第三冊 維学心院様御用留三

(天保一四年九月、一〇月)

第四冊 維学心院様御用留四

(天保一四年十一月、二月)

## 尾一 五 触留

(安政六、明治二年)

縦 五

第一冊 触留一

(安政六年九月、文久三年六月)

新御殿御広敷御用部屋

第二冊 触留二

(文久三年六月、十二月)

(新御殿御広敷御用部屋)

※挟み込み文書あり。

第三冊 触留三

(慶応四年正月、閏四月)

第四冊 触留四 (慶応四年閏四月～明治元年二月)  
第五冊 触留(五) (明治元年一月～同二年三月) 新御殿附御小納戸頭取

尾一六 御逗留中日記 (文久三年) 前大納言様御小納戸頭取

\*前大納言様は徳川慶勝のこと。

第一冊 御逗留日記(一) (文久三年正月～二月)

※綴じ込みで「東福寺中大機軒御補理向図面」あり。

第二冊 御逗留日記(二) (文久三年三月～四月)

※綴じ込みで「新御殿詰所図面」などあり。

第三冊 御逗留日記(三) (文久三年五月～六月)

尾一七 前大納言様御上京一卷 (文久二～同三年) 御小納戸頭取

第一冊 前大納言様御上京一卷(一) (文久二～同三年)

※「日記之部」「通辞之部」「願達取次之部」「諸達之部」「御道中日記」等の項目で構成。挟み込み文書あり。

第二冊 前大納言様御上京一卷(二) (文久三年)

※「御道中日記」「諸達」「触通辞」などの項目で構成。

尾一八 前大納言様御上京留 (文久二～同三年)

\*徳川慶勝の上京にともなう御供人数、道具類に関する留帳。

第一冊 前大納言様御上京留(一) (文久二～同三年) 江戸御庭預

第二冊 前大納言様御上京留(二) (文久二～同三年) 御小納戸頭取

尾一九 御上洛御用留 (文久二～同三年) 御小納戸頭取

\*一五代藩主徳川茂徳の上京に関する御用留。

第一冊 御上洛御用留(一) (文久二年六月～同三年正月)

第二冊 御上洛御用留(二) (文久二年二月～同三年二月)

尾二〇 前大納言様御上京御用留 (文久三～元治元年) 縦二

第一冊 前大納言様御上京御用留(一) (文久三年八月～一〇月) 御庭預

※中表紙に「文久三亥年八月 前大納言様御上京一件」、末尾に「文久三亥年八月 尾州日記写 京都粟田御殿御庭預」とあり。

第二冊 前大納言様御上京御用留(二) (文久三年二月～元治元年五月) 御庭預坂野(鎌蔵)

※綴じ込み文書「子正月御庭預御庭御掃除之者頭兼坂野鎌蔵儀、江戸表御長屋補理代金上納方年賦上納ニ付仕度旨、奉願候書付」他、一通あり。

## 番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一 二 (御上京借用寄)

(文久三年)

横 一

尾一 三 御上京日記

(元治元年)

御小納戸頭取

縦 二

第一冊 御上京日記(一)

(元治元年二月〜三月)

第二冊 御上京日記(二)

(元治元年四月)

尾一 三 (前大納言様京都大坂藝州御道中日記)

(元治元々慶応元年)

縦 三

\*「日記」(御下坂日記)「願達取次留」「諸達」「触通辞」「御道中日記」「広島表御陣松御道中日記」等の項目で構成。

第一冊 (前大納言様京都大坂藝州御道中日記 一)

(元治元年七月〜慶応元年三月)

第二冊 (前大納言様京都大坂藝州御道中日記 二)

(元治元年七月〜慶応元年五月)

(御小納戸頭取)

第三冊 (前大納言様京都大坂藝州御道中日記 三)

(元治元年七月〜慶応元年三月)

尾一 四 前大納言様御上京并御下坂藝地御出陣中且御凱旋共諸御  
触留

(元治元々慶応元年)

縦 一

尾一 五 前大納言様御上京御用留并御下坂藝州御用留共

(元治元々慶応元年)

縦 二

第一冊 前大納言様御上京御用留并御下坂藝州御用留共(上)

(元治元年七月〜十一月)

御庭預竹内(惣吉)

※題箋には「前大納言様御上京御下坂芸州御用留 上」とあり。

第二冊 前大納言様御上京御用留并御下坂藝州御用留共(下)

(元治元年十一月〜慶応元年正月)

(御庭預)

尾一 六 前大納言様御道中触留

(元治元々慶応元年)

御庭預

縦 一

\*御上京、御下坂、芸州の道中における留帳。

尾一 七 京都大坂広島御触留

(元治元々慶応元年)

御小納戸頭取

縦 一

尾一 八 京都大坂広島日記

(元治元々慶応元年)

御小納戸頭取

縦 二

\*「御上京日記」「大坂日記」「芸州地御宿陣日記」の項目で構成。

第一冊 京都大坂広島日記(一)

(元治元年九月〜十二月)

第二冊 京都大坂広島日記(二)

(元治元年二月〜慶応元年三月)

尾一 九 京都大坂広島日記寄

(元治元々慶応元年)

御小納戸頭取

縦 一

\*「高貴」「御届」「根極」「御役替」「御褒美」「願達」「雑」「変事」の項目で構成。

尾一三 大坂より御上京一卷

慶応元年

御小納戸頭取

\*徳川玄同(茂徳)の上京に関する記録。

尾一三 京都大坂日記

(慶応元～同二年)

縦 四

\*將軍徳川家茂の上洛、徳川玄同の上京、下坂時の日記。

第一冊 京都大坂日記(二) (慶応元年閏五月～六月) 御附御小納戸頭

第二冊 京都大坂日記(二) (慶応元年七月～八月) (御小納戸頭取)

※「御乗馬之節奥御締図面」あり。

第三冊 京都大坂日記(三) (慶応元年九月～一〇月) (御小納戸頭取)

第四冊 京都大坂日記(四) (慶応元年十一月～同二年正月) (御小納戸頭取)

尾一三 御上京留

(慶応二～同四年)

縦 二

\*「日記」「元千代様御上京之節彼地江御献上物仕候人別書」「達」「御預物」「元千代様御上京ニ付為御持之御袖等書付」「見合書」「元」「払」「慶応二寅十一月御上京御入用帳」「御手金」の項目で構成。挟み込み文書多数あり。

第一冊 御上京留(二) (慶応二年十一月～同三年六月) 御供方組頭飯懸

第二冊 御上京留(二) (慶応四年正月～八月) 御小納戸詰組頭・御小納戸詰飯掛

尾一四 大納言様御上京一卷

(慶応三～明治二年)

縦 五

\*徳川慶勝の上京に御供する御側懸の記録。

第一冊 大納言様御上京一卷(二) (慶応三年一〇月) 御供御小納戸頭取

※「日記」「達」の項目で構成。

第二冊 (大納言様御上京一卷二) (慶応三年一〇月～同四年正月) (御小納戸頭取)

※「触通辞」「願達取次留」「御道中日記」の項目で構成。

第三冊 大納言様御上京一卷(三) (慶応四年四月) 御供御小納戸頭取

※「日記」「達」「触」「願達取次留」「御道中日記」の項目で構成。

第四冊 大納言様御上京一卷(四) (明治二年二月～同四年九月)

※「西京地御発駕ニ付西京取扱之部」「御東幸ニ付三位中将様御供奉一卷」「正二位様東京御発駕御跡調一卷」「從一位様東京より御帰藩御招請一卷」等の項目で構成。

第五冊 大納言様御上京一卷(五) (明治二年二月～五月) 副家知事

※「日記」「触」「願達取次留」の項目で構成。挟み込み文書あり。



番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一三 御上京日記

縦 六

第一冊 御上京日記(上一)

(慶応三年一〇月〜十一月)

御小納戸頭取

※虫損あり。

第二冊 (御上京日記 下二)

(慶応三年十二月〜同四年正月)

(御小納戸頭取)

第三冊 御上京日記(三)

(慶応四年正月〜二月)

御供方御小納戸頭取

第四冊 (御上京日記 四)

(慶応四年三月〜閏四月)

(御供方御小納戸頭取)

第五冊 (御上京日記 五)

(慶応四年閏四月〜六月)

(御供方御小納戸頭取)

第六冊 (御上京日記 六)

(慶応四年六月〜八月)

(御供方御小納戸頭取)

尾一元 御在坂日記

慶応四年

(御供方御小納戸頭取カ)

縦 一

尾二三 御上京日記寄

慶応四年

御供御小納戸頭取

縦 一

\*「高貴・御参内・所々御成・諸芸御覧等」「御届」「御招請 他所之輩御逢他向御取遣等」「御規式 御祝儀申上・御祝事御使等」「御褒美 被遣物・被下物・差上物」「寺社 御備物・御名代・御神事等」「不時御目見上着下着 御機嫌伺」「根極 諸被仰出 都而根極ニ可相成儀」「御役替 御加増等被下上下等被仰出」「願達・諸願 支配向方達事 諸達物之類」の項目で構成。

尾二三 (義宜卿)御在京日記

明治二年

副家知事

縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾二三 元千代様御上京一卷

慶応二年

御小納戸頭取

縦 二

\*「日記」「触通辞」「諸達」「諸願達取次留」「御道中日記」の項目で構成。元千代は一六代藩主徳川義宜のこと。挟み込み文書あり。

第一冊 元千代様御上京一卷(一)

第二冊 (元千代様御上京一卷二)

尾二四 三位中将様御上京留

明治二年

御供方従事計吏

縦 一

\*三位中将は徳川義宜のこと。挟み込み文書あり。

尾二五 従三位様御帰京(留)

明治四年

縦 一

\*挟み込み文書(綴)あり。

尾二七 御参府留

(天保一一〜安政五年)

縦 二

\*「日記之部」「通辞之部」「諸達之部」「奥向願達取次之部」「御道中日記」の項目で構成。

第一冊 御参府留(一) (天保一一年二月〜三月) 御小納戸頭取  
第二冊 御参府留(二) (安政四年二月〜同五年三月) 御供御小納戸頭取  
尾一三 御入国留 安政六年 御小納戸頭取  
縦 二

\*一五代藩主徳川茂徳の御入国に関する留帳。

- 第一冊 御入国留(一) (安政六年五月〜九月)  
第二冊 御入国留(二) (安政六年五月〜一〇月)

尾一四 御入国一卷 (天保一〇〜同一一年)  
縦 二

\*一二代藩主徳川齊莊の御入国に関する留帳。

- 第一冊 御入国一卷(一) (天保一〇年一〇月〜同一一年正月)  
第二冊 御入国一卷(二) (天保一〇年一〇月〜同一年二月)

尾一四 自証院様御神殿向御用留 寺社方  
縦 二

\*自証院は二代藩主徳川光友正室千代姫の生母。

- 第一冊 自証院様御神殿向御用留(一) (弘化四年六月〜安政四年閏五月)  
第二冊 自証院様御神殿向御用留(二) (安政四年六月〜慶応三年九月)

尾一四 京都御城帳 新御殿御広敷御用部屋  
縦 四

\*徳川林政史研究所用箋にて筆記の索引が一冊ある。

- 第一冊 京都御城帳(一) (慶応四年二月〜四月)  
第二冊 京都御城帳(二) (慶応四年四月〜七月)  
第三冊 京都御城帳(三) (慶応四年七月〜明治元年九月)  
第四冊 京都御城帳(四) (明治元年一〇月〜二月)

尾一四 御着城御発駕留 御広敷御用部屋  
縦 五

\*徳川慶勝・茂徳の上京、着城に関する広敷御用人等の留帳。

- 第一冊 御着城御発駕留(一) (安政五年十一月〜同六年一〇月)  
※中表紙に「安政六末年 御入国一卷」とあり。  
第二冊 御着城御発駕留(二) (安政六年一〇月〜万延元年六月)  
※「上使」「御能一卷」「安政七申年 御参府一卷」「万延元年御屋形引移一卷」の項目で構成。

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

第三冊 (御着城御発駕留三) (文久二年閏八月〜十一月)

※中表紙に「文久二戌御帰国一卷」とあり。

第四冊 (御着城御発駕留四) (文久二年二月〜同三年二月)

※「前大納言様御登并御上京一卷」「御上京并御参府一卷」の項目で構成。

第五冊 (御着城御発駕留五) (文久三年五月〜元治元年五月)

※「文久三亥年六月廿四日 前大納言様御着城一卷」「前大納言様御帰国一卷」「文久三年亥十一月 御上洛ニ付、前大納言様御上京一卷」  
「元治元年子五月 前大納言様従京都御帰国一件」の項目で構成。

尾一四 御道中御用留并配下向諸達共

文政八年

御供方御庭預

縦

一

尾一五 御参府御供女中取扱留

(文化八〜九年)

二之丸懸り御小納戸

縦

一

\*挟み込み文書あり。

尾一六 公辺御拝領留

(文化五〜同四年)

縦

四

\*將軍家より維姫(九代藩主徳川宗睦養女・近衛基前簾中、のち維学心院)への拝領物の留帳。

第一冊 公辺御拝領留(一) (文化五〜同六年)

第二冊 公辺御拝領留(二) (文化七〜同九年)

第三冊 公辺御拝領留(三) (文化一〇〜同十二年)

第四冊 公辺御拝領留(四) (文化一三〜同十四年)

尾一七 根極留

(天保二三〜文久二年)

御広敷御用部屋

縦

八

第一冊 根極留(一) (天保二三〜同十五年)

第二冊 根極留(二) (弘化二〜同四年)

第三冊 根極留(三) (弘化五〜嘉永三年)

第四冊 根極留(四) (嘉永四〜同五年)

第五冊 根極留(五) (嘉永四〜同五年)

第六冊 根極留(六) (安政三〜同五年)

第七冊 根極留(七) (安政六〜万延元年)

第八冊 根極留(八) (文久元〜同二年)

尾一八 江戸表大奥年頭御用留写

嘉永三年

御広敷御用部屋

縦

一

尾一 咒 御留守御用申継帳 (天明四、同五年) 二之丸懸御小納戸 縦 三

第一冊 御留守御用申継帳 (一) (天明四年三月、七月)

第二冊 御留守御用申継帳 (二) (天明四年八月、十二月)

第三冊 御留守御用申継帳 (三) (天明五年正月、四月)

尾一 吾 御用人調伺留 (慶応三、明治元年) 御城御広敷御用部屋 縦 三

第一冊 御用人調伺留 (一) (慶応三年正月、六月)

第二冊 御用人調伺留 (二) (慶応三年七月、同四年二月)

第三冊 御用人調伺留 (三) (慶応四年二月、明治元年二月)

※挟み込み文書あり。

尾一 五 御内輪月並御取扱(留) 嘉永四年 御広敷御用部屋 縦 一

尾一 五 御省略ニ付御用人ヲ談等之留 (天保七、同一〇年) 御広敷御用部屋 縦 一

尾一 五 御省略一卷 (文政一三、天保一二年) 御広敷御用部屋 縦 二

第一冊 御省略一卷 (一) (文政一三年一月、天保一二年五月)

※「寅十月女使衆被下御料理御外物帳」「寅十月御伽坊主御用上仕立直段書」などの項目あり。

第二冊 御省略一卷 (二) (天保一二年五月、同一二年二月)

※「卯五月分大奥向御広敷諸役所向油渡方調帳」「天保二年卯七月御広敷御賄所ニ而取扱候不時支度渡方調帳」「天保元寅年中大奥目当御入用内訳調帳」などの項目あり。

尾一 五 御省略一件留 (天保一二、同一三年) 御広敷御用部屋 取扱鈴木久右衛門 縦 一

尾一 五 梅御殿年中行事 (天保年間) 縦 一

尾一 五 梅御殿奉状奉手紙文格元帳 (天保八年) 縦 一

\*「奉状之部」「奉手紙之部」の項目で構成。

尾一 五 御広敷懸り御小納戸自分留 (文久三、慶応三年) 新御殿御用部屋 縦 一

尾一 六 御在御留守境諸達一卷 (天保一一、弘化元年) 御小納戸頭取 縦 三

第一冊 御在御留守境諸達一卷 (一) (天保一一、弘化元年)

第二冊 御在御留守境諸達一卷 (二) (嘉永四、安政三年)

第三冊 御在御留守境諸達一卷 (三) (安政四、慶応三年)

## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

## 尾一六 待賓館御用留

(慶応四〜明治二年)

主事

縦 三

\* 挟み込み文書多数あり。勤王誘引関連の項目あり。

第一冊 待賓館御用留(一) (慶応四年正月〜閏四月)

第二冊 待賓館御用留(二) (慶応四年閏四月〜明治二年三月)

第三冊 待賓館御用留(三) (明治二年三月〜九月)

## 尾一七 支配之輩役寄

(寛政元〜明治元年)

御小納戸頭取

縦 四

第一冊 支配之輩役寄(一) (寛政元〜文政九年)

※奥御同朋・御小納戸詰組頭・奥坊主組頭・御庭預・御下屋敷手代・御網打等の役寄帳。

第二冊 支配之輩役寄(二) (文政一〇〜明治元年)

※奥同朋・奥同朋格・御小納戸詰組頭・御小納戸詰役懸・奥坊主組頭等の役寄帳。

第三冊 支配之輩役寄(三) (文政一〇〜明治元年)

※御小納戸詰・御小納戸詰見習・御庭預等の役寄帳。

第四冊 支配之輩役寄(四) (文政一〇〜明治元年)

※御腰物方・奥坊主・御小納戸頭取支配・御下屋敷同心・御網打・御留場見廻之者・御川方之者、御場懸支配見廻之者等の役寄帳。

## 尾一八 自筆代支配取扱留

(安政六〜元治元年)

御広敷御用部屋

縦 六

第一冊 自筆代支配取扱留(一) (安政六年三月〜十二月)

※「一自筆代取扱之分是迄支配達留之内江留入置候処、此度より別帳ニ取計候事 未三月」とあり。

第二冊 自筆代支配取扱留(二) (万延元年)

第三冊 自筆代支配取扱留(三) (文久元年)

第四冊 自筆代支配取扱留(四) (文久二〜元治元年)

第五冊 自筆代支配取扱留(五) (元治元年)

第六冊 自筆代支配取扱留(六) (元治元年)

## 尾一六 内密調(帳)

(嘉永六〜安政元年)

白井(新次郎)

縦 一

\* 題箋には「安政二卯年」とあり。

## 尾一五 男子内密留

(万延元〜明治四年)

御用達

縦 一

尾一六 女中内密留 (文久三〇慶応四年) 新御殿御広敷 縦 一

\* 挟み込み文書あり。

尾一六 支配之輩人数治定一卷 嘉永元年 御広敷御用人 縦 一

尾一六 役々人数減方調帳 嘉永元年 御広敷御用人 縦 一

\* 挟み込み文書あり。

尾一七 御広敷御用達役所人数(留) (寛政一〇〇慶応四年) 御用達 縦 一

尾一七 御用達覚書 (慶応元〇明治二年) (御広敷御用達) 縦 一

\* 題箋には「慶応元年七月」とあり。

尾一七 御広敷御用人留 (文化六年) 二之丸懸御小納戸 縦 二

第一冊 御広敷御用人留(二) (文化六年)

※ 貼り付けた文書一通あり。その端裏書に「維君様若年寄相勤候八重岡儀、於此表雲晴院居所ニ逗留為仕度願書付」とあり。

第二冊 御広敷御用人留(二) (文化七年)

尾一七 諸究事留 (安政六〇明治三年) 御城御用達 縦 二

\* 挟み込み文書あり。

第一冊 諸究事留(二) (元治元〇明治二年)

※ 「文久元四年六月写 女中御暇之節被下金極」「文久四年下払帳之内神仏御備金等書拔」「慶応元丑年八月訂奥并諸役所共晦日渡諸色根帳」等の項目あり。

第二冊 (諸究事留二) (安政六〇慶応三年、明治三年)

※ 「年内差定候御備金等書拔」等の項目あり。

尾一七 同役年限御加恩等御広敷御用人衆迄達留 (弘化元〇慶応四年) 御用達 縦 一

尾一七 御届根帳 (万延元〇慶応二年) 御屋形御小納戸頭取 縦 一

尾一八 御変革一卷 人数減之部 明治二年 (家知事 副家知事 参政衆) 縦 一

\* 挟み込み文書あり。「人数減方之儀、副家知事江申談為取調減候上、段々評議、猶吟味をも副家知事江申談、夫々人員切詰、執政衆并参政衆江調出候処、副家知事吟味之書類ハ強而見合相成間敷と留略ス」とあり。

| 番 号 表 題                                                                            | 年月日             | 差出(作成)↓宛所 | 形態・数量 |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------|-------|
| 尾一三 御入用減之上猶又三ヶ一ニ相成候筈ニ付御省略一卷                                                        | (明治二〜三年)        | 御広敷懸り     | 縦 一   |
| *「明治二巳年冬ヨリ御入用半減之上、猶又三ヶ一ニ相減候筈ニ付御省略一卷」「明治三午年松御殿御初御召服御改革 同断御召服御入用調一卷」等の項目あり。挟み込み文書あり。 |                 |           |       |
| 尾一三 御道中御用留                                                                         | (明治四年)          | 川村五郎八     | 縦 一   |
| *「御道具損繕」「御供并内代名前」「渡り方達」「雑達」「諸御触」「御差立」の項目で構成。                                       |                 |           |       |
| 尾一四 太政官代御事書                                                                        | (慶応四〜明治二年)      | 御小納戸頭取    | 縦 七   |
| 第一冊 太政官代御事書(一)                                                                     | (慶応四年二月〜四月)     |           |       |
| 第二冊 太政官代御事書(二)                                                                     | (慶応四年閏四月〜五月)    |           |       |
| 第三冊 太政官代御事書(三)                                                                     | (慶応四年六月〜八月)     |           |       |
| 第四冊 太政官代御事書(四)                                                                     | (明治元年九月〜一〇月)    |           |       |
| 第五冊 太政官代御事書(五)                                                                     | (明治元年十一月〜十二月)   |           |       |
| 第六冊 太政官代御事書(六)                                                                     | (明治二年正月〜四月)     |           |       |
| 第七冊 太政官代御事書(七)                                                                     | (明治二年五月〜十二月)    |           |       |
| 尾一五 東京太政官御事書・御滯京中太政官御事書・従一位様御在京中太政官御事書                                             | (明治元〜同三年)       |           | 縦 三   |
| 第一冊 東京太政官御事書                                                                       | (明治元年一〇月〜同二年二月) | 御小納戸頭取    |       |
| 第二冊 御滯京中太政官御事書                                                                     | (明治二年二月〜一〇月)    | 副家知事      |       |
| 第三冊 従一位様御在京中太政官御事書                                                                 | (明治三年四月〜五月)     |           |       |
| ※「明治三年東京御事書抜粹」を合綴。                                                                 |                 |           |       |
| 尾一六 行政官御事書                                                                         | (明治二年)          | 副家知事      | 縦 一   |
| 尾一七 御事書                                                                            | (明治四年)          |           | 縦 一   |
| 尾一八 西京御事書                                                                          | (明治二年)          | 副家知事      | 縦 二   |
| 第一冊 西京御事書(一)                                                                       | (明治二年正月〜二月)     |           |       |
| 第二冊 西京御事書(二)                                                                       | (明治二年三月〜七月)     |           |       |

尾一八九 東京御事書 (明治二、同三年) 副家知事 縦 七

- 第一冊 東京御事書(一) (明治二年正月～二月)  
第二冊 東京御事書(二) (明治二年二月～五月)  
第三冊 東京御事書(三) (明治二年五月～七月)  
第四冊 東京御事書(四) (明治三年正月～五月)  
第五冊 東京御事書(五) (明治三年六月～八月)  
第六冊 東京御事書(六) (明治三年九月～一〇月)  
第七冊 東京御事書(七) (明治三年閏一〇月～十二月)

尾一三三 御蔵板古事記一卷 御書物拝領記 (明治六、同三二年) 縦 一

\* 挟み込み文書多数あり。

尾一四四 御徒格以上配下向明細剥取 (享和二、明治五年) 縦 三

- 第一冊 御徒格以上配下向明細剥取上(一) (文化三、明治五年)  
第二冊 御徒格以下熨斗目着用以上配下向明細剥取中(二) (文化二、明治五年)  
第三冊 熨斗目着用無之配下向明細剥取下(三) (享和二、明治五年)

尾一六六 御本殿女中惣帳 (明治三年) 縦 一

\* 「女中頭」「老女格」「御側仕締役」「中老席」「御側仕」「御側仕並」「表使席」「御側仕見習」「御次詰」「御使番」「御末」の項目で構成。明細短冊を貼付したのだが、剝離した明細短冊が包袋に多数入っている。

尾一七九 柏御殿御附女中惣帳 (天保年間、明治初年) 縦 一

\* 明細短冊を貼付している。一部貼り付けられていない明細短冊は包紙に入っている。

尾一八六 御子様方女中惣帳 (明治初年) 縦 一

\* 「御側仕締役」「御抱守手代」「御側仕見習」「御乳持」の項目で構成。

尾一九九 女中名前帳 (明治初年) 横 一

\* 上臈・中老・御側詰・御次詰・御末などの他、道姫・豊姫・安千代・盛千代・貞慎院などの御附女中の名前書上。

尾二〇〇 女中名寄 (江戸末期、明治初年) 横 一

\* 「御子様方女中」「柏御殿御附女中」「釧姫様御附女中」「四谷御勤女中」などの名寄帳。

尾二〇三 御参府御供女中取扱留 (文化一〇、同一年) 縦 一

御広敷懸御小納戸

尾張徳川家文書目録(一)



| 番 号 表 題                                                                                                                                                                        | 年月日            | 差出(作成)↓宛所   | 形態・数量 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------|-------|
| 尾一〇三 御屋形住居御留方女中新御殿江引移住居ニ付諸役之人数減吟味之一卷                                                                                                                                           | (文久元〜同二年)      | (御広敷懸)      | 縦 一   |
| 尾一二三 御本殿女中初御人数減御暇ニ付御手当被下方 玄同様并御簾中様御附女中御暇ニ付御手当被下方 明治二巳年御一新御人減ニ付御手当被下方一卷<br>*挟み込み文書あり。                                                                                           | (慶応三〜明治二年)     | 御用達         | 縦 一   |
| 尾一〇四 (江戸表女中御人減ニ付取調書類)                                                                                                                                                          | (安政二〜慶応四年)     | (御広敷懸)      | 縦 一   |
| 尾一〇五 女中御宛行高等尋ニ付申達留<br>*中表紙に「文久四亥年御方々様御登之後江戸へ来ル」とあり。                                                                                                                            | (万延元〜文久元年)     | 江戸御用達       | 縦 一   |
| 尾一二六 女中御宛行調(帳)                                                                                                                                                                 | 安政七年・万延二年・文久四年 | (新御殿)戸山御用達  | 縦 一   |
| 尾一二七 惣女中及御比丘尼ニ至迄御宛行御変革調一卷<br>*「御本殿女中禄制調」「貞慎院様・釣姫様御附女中禄制調」「高須御附女中禄制調」「勤御免女中禄制調」「御比丘尼禄制調」「御本殿女中御宛行御改革調」「貞慎院様・釣姫様御附女中御宛行御改革調下」「高須御附女中御宛行御改革調写」「勤御免女中御宛行御改革調下」「御比丘尼御宛行御改革調」の項目で構成。 | (明治二〜同三年)      | 御広敷懸        | 縦 一   |
| 尾一二八 老女瀧野初病氣養生之御暇相願江戸表江罷下候節諸留                                                                                                                                                  | (慶応三年)         | (御附御用役衆)    | 縦 一   |
| 尾一二九 御中居以下進退自筆留<br>*中表紙に「御引移渡之分共」とあり。                                                                                                                                          | (文政一二〜慶応三年)    |             | 縦 一   |
| 尾一二〇 京都江為御差登女中書類とし一卷<br>*御一新による大奥女中の人数削減に関する綴じ込み文書多数あり。                                                                                                                        | (明治二年)         |             | 縦 一   |
| 尾一二二 東京江御差下女中一卷                                                                                                                                                                | 明治二年           |             | 縦 一   |
| 尾一二三 西京(江)為御差登歌園初道中諸色調帳                                                                                                                                                        | (明治二年)         |             | 縦 一   |
| 尾一二三 朱網代御乗物権門駕籠御修理入札書                                                                                                                                                          | 明治二年           | (新御殿御広敷御役所) | 縦 一   |

尾一二四 御参詣御名代御定 (江戸末期カ)

尾一二五 例朝御目見之節御擣之儀可心得日並 (江戸末期カ)

尾一二七 川村秀道窃盗留 (明治六、同七年)

尾一二八 背殺生留 (嘉永六、慶応三年) 御鷹方

\*挟み込み文書あり。

第一冊 背殺生留 (一) (嘉永六、安政二年)

第二冊 背殺生留 (二) (安政三、万延元年)

第三冊 背殺生留 (三) (嘉永六、万延元年)

第四冊 背殺生留 (四) (文久元、同三年)

第五冊 背殺生留 (五) (元治元、慶応三年)

尾一二九 背殺生道具并過料錢等仕払留 (嘉永元、慶応三年) 御鷹方

第一冊 背殺生道具并過料錢等仕払留 (一) (嘉永元、同五年)

第二冊 背殺生道具并過料錢等仕払留 (二) (嘉永五、安政三年)

第三冊 背殺生道具并過料錢等仕払留 (三) (安政三、万延元年)

第四冊 背殺生道具并過料錢等仕払留 (四) (文久元、慶応三年)

※挟み込み文書あり。

尾一二三〇 鶉・水鳥・夏鳥等連上帳控 (天保一二、嘉永二年) (御鷹方)

\*尾張・美濃両国各郡村々の鶉・水鳥・夏鳥等の連上金銀書上帳。

第一冊 (鶉・水鳥・夏鳥等連上帳控 一) (天保一二、弘化元年)

第二冊 (鶉・水鳥・夏鳥等連上帳控 二) (弘化元、同三年)

第三冊 (鶉・水鳥・夏鳥等連上帳控 三) (弘化三、嘉永元年)

第四冊 (鶉・水鳥・夏鳥等連上帳控 四) (嘉永二年)

尾一二三 鳥運上一巻 (安政三、慶応元年) 御鷹方

第一冊 鳥運上一巻 (一) (安政三、同四年)

第二冊 (鳥運上一巻 二) (安政五、万延元年)

第三冊 (鳥運上一巻 三) (万延元、文久元年)

尾張徳川家文書目録(一)

## 番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

第四冊〔鳥連上一巻四〕 (文久二年)

第五冊 鳥連上一巻〔五〕 (文久三〜慶応元年)

尾一二三 網漉役賃銀請払帳控

(天保九〜安政四年)

御鷹方

縦 一

\*綴じ込み文書あり。

尾一二三 御留川附諸事留

(文化一一〜安政六年)

御鷹方

縦 二

第一冊 御留川附諸事留(一)

(文化一一〜嘉永三年)

第二冊〔御留川附諸事留二〕

(嘉永四〜安政六年)

※挟み込み文書あり。

尾一二四 〔勢州広瀬野御鷹場一巻留〕

(文化六〜同八年)

御鷹見方

縦 一

\*伊勢国鈴鹿郡広瀬野は尾張家御鷹場。

尾一二五 勢州広瀬野等御巢鷹下シ一巻

万延元年

縦 一

\*〔勢州広瀬野出張日記〕を含む。

尾一二六 御鷹浜境杭一巻

(安政五〜万延元年)

縦 一

尾一二七 御鷹浜一巻

(万延元年)

縦 一

\*〔万延元年申九月 遠州御鷹浜見分路之記 御鷹場見廻之者久米嘉助〕とあり。

尾一二八 遠州鷹打一巻

(文久元〜同二年)

(御鷹匠頭 地方改正懸御勘定奉行)

縦 一

尾一二九 遠州鷹部屋鳩部屋一巻

(文久元カ〜同二年)

縦 一

\*綴じ込み文書あり。

尾一三〇 〔御鷹方諸役人履歴留〕

(天保〜安政年間)

横 二

第一冊〔御鷹方諸役人履歴留一〕

(天保年間)

第二冊〔御鷹方諸役人履歴留二〕

(弘化二〜安政年間)

尾一三一 諸国鷹地名附

(安政六年)

縦 一

\*奥書に「安政六年末三月写之」とあり。

尾一二三 〔井上河内守ら新田ノ儀懸合一卷〕 (文久元年) 縦 一

\* 井上河内守は浜松藩主井上政直。

尾一二三 〔玄同様御上京ニ関スル御用留并御滞京中日記〕 慶応元年 縦 一

尾一二四 御賄頭兼役江付候支配諸事留 (安政三ノ明治二年) 御用役 縦 一

\* 利姫様(二代藩主徳川斉莊娘、清水斎彊養女)御附御賄人等に関する留帳。

尾一二五 覚書(御使・御客・御供等) (安政三ノ文久三年) 御用役 縦 一

\* 挟み込み文書あり。

尾一二六 不用ニ無之書類内密書類共 (文久三年カ) 縦 一

\* 一五通の書付が貼り付けてある。

尾一二七 御由緒書 橘町妙善寺 (延宝八年ノ嘉永二年) (橘町妙善寺) 縦 一

尾一二八 伊藤次郎左衛門・内田忠次郎拝借金一件留 (安政三ノ文久元年) 縦 一

\* 挟み込み文書あり。

尾一二九 御沙汰品調下帳 (明治二年) 家従 縦 一

\* 徳川林政史研究所用箋にて筆記の索引があり。

尾一二〇 御上京諸色注文帳 (明治二年) 御供方役懸 横長 一

尾一二一 御厩諸色請取判帳 (午六月ノ未八月) 横長 一

尾一二二 新御殿上納女中拝借返上留 天保二年 役掛 横長 一

尾一二三 建中寺黒本尊御供養料金渡判帳 (慶応元ノ同三年) 御広敷御用部屋 横長 一

尾一二四 〔新聞雑誌〕 (明治四ノ同五年) 前田栄蔵 縦 一

尾一二五 規繩録 (弘化年間以降) 横・小 一

\* 〔御祝儀申上御機嫌伺〕〔書上并伺書認方〕〔指上物有之節取扱〕〔御呼出等ニ付取扱方 誓詞とも〕〔御手判取扱〕〔御用番替取扱〕〔産穢忌中御免とも〕  
〔御側金取扱〕〔目録〕〔養子縁組 離縁とも〕〔進退〕〔奥書裏書〕〔入湯并御医師病用御暇〕〔返事類〕〔末期願〕〔烏犀圓〕〔御札〕〔公辺方心得〕〔出御〕  
〔交代 有病とも〕〔雑事〕の項目で構成。

| 番号表題                                                                                                                      | 年月日         | 差出(作成)↓宛所 | 形態・数量 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------|-------|
| 尾一二四 文格(帳)                                                                                                                | (江戸末期)      | (寄物方)     | 縦 一   |
| *主として御側寄物金借用に関する書札礼。「御年寄衆」「ヲモリ衆・御城代衆」「山村・千村」「御側御用人」「大寄合々御用人迄」「千石已上寄合ヨリ物頭已上」「読書」「御藏奉行」「ヲスキヤ・御同朋」「割符」「手形」「達」「俵直し」「雑」の項目で構成。 |             |           |       |
| 尾一二四 文格元帳                                                                                                                 | (天保五年)      | 御広敷御用部屋   | 縦 一   |
| *「二文格」「二桜御殿文格」「三御広敷御用人文格」の項目で構成。                                                                                          |             |           |       |
| 尾一二四 通用文格                                                                                                                 | (文化二三〇慶応二年) |           | 縦 一   |
| *「根一札」「飛札便状」「手形」「誓状」「江戸通用文格」「御在国文格」「定法物」「書上」「御使附」「御言伝書」「奉切紙」「雑之部」「銘書譜」の項目で構成。                                             |             |           |       |
| 尾一二四 奥向之輩誓詞誓状一卷                                                                                                           | (寛政一一〇慶応三年) | 御小納戸頭取    | 縦 一   |
| *綴じ込みで「於月番御年寄衆宅誓詞差上候節之図」「御城竹之間ニ而誓詞差上候場所図」あり。                                                                              |             |           |       |
| 尾一二五 諸御門口々壁書別紙并高札留 奥向御深井御下屋敷共                                                                                             | (文化八〇文政七年)  | 御小納戸頭取    | 縦 一   |
| *「御意壁書を初、奥向御深井御下屋敷詰御門口々出入并役所持場高札等之儀ニ付、後来見合可相成趣頭書」「壁書并別紙」「従是御深井輪中壁書板高札留」「御下屋敷御庭口等高札」等の項目あり。                                |             |           |       |
| 尾一二五 (月並御定)                                                                                                               | (弘化四年)      |           | 縦 一   |
| *宰相様(一二代藩主徳川慶徳)・前大納言様(徳川斉朝)・貞慎院様(徳川斉荘正室)・利姫様(斉荘娘)・釧姫様(斉荘娘)の月並御定。                                                          |             |           |       |
| 尾一二五 (御内輪月並御定)                                                                                                            | (弘化四年)      |           | 縦 一   |
| *宰相様・前大納言様・貞慎院様・利姫様・釧姫様の月並御定。                                                                                             |             |           |       |
| 尾一二五 (京都向月並御定)                                                                                                            | (弘化四年)      |           | 縦 一   |
| *宰相様・前大納言様・貞慎院様・利姫様・釧姫様の月並御定。                                                                                             |             |           |       |
| 尾一二五 御老中初御役人向御取扱極                                                                                                         | (弘化四年)      |           | 縦 一   |
| *「御老中方」「御側御用人」「京都所司代」「大坂御城代」「若年寄」「御側衆」の項目で構成。「未十月廿日伺済」とあり。                                                                |             |           |       |
| 尾一二五 御役人向月並御定                                                                                                             | (弘化四年)      |           | 縦 一   |
| *「御役人向月並御定」「前大納言様御役人向月並御定」「女中向月並御定」の項目で構成。「未十月廿日伺済」とあり。                                                                   |             |           |       |

尾一一五 御老中方初病氣御尋(御定) (弘化四年) 縦 一

\*「御大老ハ午五月伺済 未十月廿日伺済」とあり。

尾一一五 御省略中両家御年寄衆初御尋等ノ極 (弘化四年) 縦 一

\*「未十月廿日伺済」とあり。

尾一一五 御城女中初江被遺物被下物(留) (天保六ノ弘化四年) 縦 一

尾一一五 年中行事元帳 (天保一〇ノ一一一年) 縦 一

\*「天保十亥年五月宛 中納言様御初方俊恭院様江月並御取扱留」「御名代月並御取扱一卷」の項目あり。挟み込み文書あり。

尾一一六 年頭御用留 (天保一四年) 縦 一

\*主として利姫(二代藩主徳川斉莊娘)の年頭御規式に関する御用留。

第一冊 年頭御用留(二) (天保一四年)

※挟み込み文書あり。

第二冊 (年頭御用留二) (天保一四年)

※「天保十三年寅十二月 大奥卯年頭御規式伺帳」「寅十二月利姫様卯年頭御規式伺帳」「寅十二月御本殿卯年頭御用廻り相調伺帳」「寅十二月利姫様卯年頭御用廻り物伺帳」「天保十三年寅十二月卯年頭御用男子向被下廻物調伺帳」「寅十一月利姫様卯年頭御用男子向江被下物調伺帳」「諸色」の項目で構成。

尾一一六 新御殿年頭御用留 (安政七ノ慶応元年) 縦 三

第一冊 新御殿年頭御用留(一) (安政七ノ文久二年)

第二冊 (新御殿年頭御用留二) (文久二ノ同三年)

第三冊 (新御殿年頭御用留三) (文久三ノ慶応元年)

尾一一六 新御殿年頭御留 (明治元ノ同二年) 縦 一

\*綴じ込みで折本「正月朔日年頭御規式并御礼之節御式之次第」「正月一日大御番組以下之輩其外町人等御礼被為請候御式之次第」「正月六日年頭社家之輩并在々医師・百姓・町人等御目見之御次第」「正月七日御年寄初御目見引次御開講御式之次第」「正月四日御馬御召初二付御式之次第」を含む。

尾一一六 年頭御留 (慶応三ノ同四年) 縦 二

第一冊 年頭御留(一) (慶応三ノ同四年) (御側物頭・御小納戸頭取)中野惣太郎

※綴じ込みで折本「正月朔日年頭御規式并御礼之節御式之次第」「御年寄初之嫡子并寄合組以下之輩其外町人等御礼被為請候御次第」を含む。

## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

第二冊 年頭留(二) (明治元〜同二年)

山口作左衛門

※綴じ込みで折本「正月二日大御番組以下之輩其外町人等御礼被為請候御式之次第」「正月六日年頭社家之輩并在之医師・百姓・町人等御目見之御次第」「正月八日年頭寺院御目見之御次第」を含む。

尾二一五 柏御殿日記

(嘉永五年)

広(御広敷)御用部屋

縦 四

\*中表紙に「貞慎院様御日記」とあり。貞慎院は二代藩主徳川斉荘正室猶姫のこと。

第一冊 柏御殿日記(一) (嘉永五年正月〜閏二月)

第二冊 柏御殿日記(二) (嘉永五年三月〜六月)

第三冊 柏御殿日記(三) (嘉永五年七月〜九月)

第四冊 柏御殿日記(四) (嘉永五年十月〜十二月)

尾二一六 粟田御殿日記

(文久三年)

御小納戸頭取

縦 一

尾二一七 御屋形日記

(元治元年)

御小納戸頭取

縦 五

\*徳川慶勝・玄同(茂徳)・元千代(義直)等の奥向御用に関する日記。

第一冊 御屋形日記(一) (文久四年正月〜元治元年二月)

第二冊 御屋形日記(二) (元治元年三月)

第三冊 御屋形日記(三) (元治元年四月)

※挟み込み文書あり。

第四冊 御屋形日記(四) (元治元年五月)

※挟み込み文書あり。

第五冊 御屋形日記(五) (元治元年六月)

尾二一八 新御殿日記

(弘化五〜明治三年)

縦 二九

第一冊 新御殿日記(一) (弘化五年正月〜嘉永元年二月) (御広敷御用部屋)

第二冊 新御殿日記(二) (嘉永元年三月〜四月) (御広敷御用部屋)

第三冊 新御殿日記(三) (嘉永元年五月〜七月) (御広敷御用部屋)

第四冊 新御殿日記(四) (嘉永元年八月〜一〇月) (御広敷御用部屋)

第五冊 新御殿日記(五) (嘉永元年十一月〜十二月) (御広敷御用部屋)

第六冊 新御殿日記(六) (文久四年正月〜元治元年二月) (御広敷御用部屋)

※挟み込み文書あり。

- 第七冊 (新御殿日記 七) (元治元年三月～四月) (御広敷御用部屋)
- 第八冊 (新御殿日記 八) (元治元年五月～六月) (御広敷御用部屋)
- 第九冊 (新御殿日記 九) (元治元年七月～八月) (御広敷御用部屋)
- 第一〇冊 (新御殿日記 十) (元治元年九月～一〇月) (御広敷御用部屋)
- 第一一冊 (新御殿日記 十一) (元治元年十一月～十二月) (御広敷御用部屋)
- 第一二冊 (新御殿日記 十二) (慶応三年二月～三月) (御広敷御用部屋)
- 第一三冊 (新御殿日記 十三) (慶応三年四月～五月) (御広敷御用部屋)
- 第一四冊 (新御殿日記 十四) (慶応三年六月～七月) (御広敷御用部屋)
- ※「御殿締之箇所」絵図あり。
- 第一五冊 (新御殿日記 十五) (慶応三年八月～九月) (御広敷御用部屋)
- 第一六冊 (新御殿日記 十六) (慶応三年一〇月～同四年正月) (御広敷御用部屋)
- ※挟み込み文書あり。
- 第一七冊 新御殿日記 (十七) (明治二年正月～三月) 御小納戸頭取
- 第一八冊 新御殿日記 (十八) (明治二年三月～六月) 新御殿内家局
- ※挟み込み文書あり。
- 第一九冊 (新御殿日記 十九) (明治二年六月) (新御殿内家局)
- 第二〇冊 (新御殿日記 廿) (明治二年七月) (新御殿内家局)
- 第二一冊 (新御殿日記 廿一) (明治二年九月) (新御殿内家局)
- 第二二冊 (新御殿日記 廿二) (明治二年一〇月) (新御殿内家局)
- 第二三冊 (新御殿日記 廿三) (明治二年十一月～十二月) (新御殿内家局)
- 第二四冊 (新御殿) 日記 (廿四) (明治三年正月～二月) 家扶頭取
- 第二五冊 (新御殿日記 廿五) (明治三年三月～四月) (家扶頭取)
- 第二六冊 (新御殿日記 廿六) (明治三年五月～六月) (家扶頭取)
- ※「御城御広敷局向図」あり。
- 第二七冊 (新御殿日記 廿七) (明治三年七月～八月) (家扶頭取)
- 第二八冊 (新御殿日記 廿八) (明治三年九月～閏一〇月) (家扶頭取)
- 第二九冊 (新御殿日記 廿九) (明治三年十一月～十二月) (家扶頭取)
- ※挟み込み文書あり。



## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

## 尾二一六 三御殿日記

(安政六〜文久元年)

御広敷御用部屋

縦 一一

第一冊 三御殿日記(一) (万延二年正月〜文久元年一月)

第二冊 (三御殿日記二) (文久元年三月〜四月)

第三冊 (三御殿日記三) (文久元年五月〜六月)

第四冊 (三御殿日記四) (文久元年七月〜八月)

第五冊 (三御殿日記五) (文久元年九月〜一〇月)

第六冊 (三御殿日記六) (文久元年十一月〜十二月)

第七冊 三御殿日記(七) (安政六年正月〜二月)

第八冊 (三御殿日記八) (安政六年三月〜四月)

第九冊 (三御殿日記九) (安政六年六月〜七月)

第一〇冊 (三御殿日記十) (安政六年八月〜一〇月)

第一一冊 御留守日記(三御殿日記十一) (安政六年一〇月〜十一月)

第一二冊 (三御殿日記十二) (安政六年十一月〜十二月)

## 尾二一七 日記寄

(弘化五〜嘉永三年)

御側懸 御小納戸頭取

縦 一

\*「高貴」「上使」「御招請」「御規式」「御届」「御法事」「根極」「御役替」「御褒美」「不時御目見」「寺杜」「諸達」「諸願」「変事」「雑事」「御成」「御参詣」の項目で構成。

## 尾二一七 日記書拔

(天保一四〜安政元年)

御広敷御用部屋

縦 一

\*「願達」「同居・引請・転宅・屋敷相対借貸」「進退・御褒美・初而御目見・改名」「勢州参宮初所々之御暇」「江戸上下」の項目で構成。

## 尾二一七 御留守日記

(天保二〜安政五年)

縦 一一

第一冊 御留守日記(一) (天保二年正月〜六月) 御広敷御用部屋

第二冊 (御留守日記二) (天保三年六月〜九月) (御広敷御用部屋)

第三冊 御留守日記(三) (天保三年正月〜七月) 御広敷御用部屋

第四冊 (御留守日記四) (天保三年七月〜十二月) (御広敷御用部屋)

※「前中納言様御四十之御年賀御祝一件」を含む。

第五冊 御留守日記(五) (天保三年二月〜五月) (御広敷御用部屋)

第六冊 御留守日記(六) (天保二年七月〜十一月) (御広敷御用部屋)

尾二一七 御在国日記

- 第七冊 〔御留守日記七〕 (天保三年九月～十二月) (御広敷御用部屋)  
 第八冊 御留守日記〔八〕 (天保七年正月～七月) 御広敷御用部屋  
 第九冊 〔御留守日記九〕 (天保七年八月～十二月) (御広敷御用部屋)  
 第一〇冊 御留守日記〔十〕 (安政四年四月～七月) 御小納戸頭取  
 第一冊 〔御留守日記十二〕 (安政四年七月～十一月) (御小納戸頭取)  
 第二冊 〔御留守日記十二〕 (安政四年十一月～同五年三月) (御小納戸頭取)

(嘉永六～明治元年)

- 第一冊 御在国日記〔一〕 (嘉永六年三月～六月) 御広敷御用部屋  
 第二冊 〔御在国日記二〕 (嘉永六年六月～九月) (御広敷御用部屋)  
 第三冊 〔御在国日記三〕 (嘉永六年一〇月～十二月) (御広敷御用部屋)  
 第四冊 〔御在国日記四〕 (嘉永七年正月～三月) (御広敷御用部屋)  
 第五冊 御在国日記〔五〕 (慶応三年正月) (御広敷御用部屋)  
 第六冊 〔御在国日記六〕 (慶応三年二月～三月) (御広敷御用部屋)

※挟み込み文書あり。

- 第七冊 〔御在国日記七〕 (慶応三年三月～四月) (御広敷御用部屋)  
 第八冊 〔御在国日記八〕 (慶応三年四月～五月) (御広敷御用部屋)  
 第九冊 〔御在国日記九〕 (慶応三年五月～六月) (御広敷御用部屋)  
 第一〇冊 〔御在国日記十〕 (慶応三年七月) (御広敷御用部屋)  
 第一冊 〔御在国日記十一〕 (慶応三年八月～九月) (御広敷御用部屋)  
 第二冊 〔御在国日記十二〕 (慶応三年九月) (御広敷御用部屋)  
 第三冊 〔御在国日記十三〕 (慶応三年一〇月) (御広敷御用部屋)  
 第四冊 〔御在国日記十四〕 (慶応三年十一月) (御広敷御用部屋)

※図面あり。

- 第一五冊 〔御在国日記十五〕 (慶応三年一二月) (御広敷御用部屋)  
 第一六冊 御在国日記〔十六〕 (慶応四年正月) 御小納戸頭取  
 第一七冊 〔御在国日記十七〕 (慶応四年正月) (御小納戸頭取)  
 ※図面あり。  
 第一八冊 〔御在国日記十八〕 (慶応四年二月) (御小納戸頭取)  
 第一九冊 〔御在国日記十九〕 (慶応四年二月～四月) (御小納戸頭取)

## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

二六

## 尾一七 江戸日記

(天保一〇年)

(酒井)

縦 二

- 第一冊 江戸日記(二) (天保一〇年十一月)  
第二冊 江戸日記(二) (天保一〇年十二月)

## 尾一八 (維字心院附御用人)日記

(文化一一、文政六年)

御用人

縦 三

\*維字心院(琴姫・維姫)は高須藩主松平勝當の娘で九代藩主徳川宗睦の養女、左大臣近衛基前簾中。

- 第一冊 (維字心院附御用人)日記(一) (文化一一年)  
第二冊 (維字心院附御用人)日記(二) (文政六年正月、六月)  
第三冊 (維字心院附御用人)日記(三) (文政六年七月、十二月)

## 尾一九 日記

(慶応三、明治三年)

縦 一二

- 第一冊 日記(四) (慶応三年二月) (御小納戸頭取)  
第二冊 日記(五) (慶応三年三月、四月) (御小納戸頭取)  
第三冊 日記(六) (慶応三年五月、六月) (御小納戸頭取)  
第四冊 日記(七) (慶応三年七月、八月) (御小納戸頭取)  
第五冊 日記(八) (慶応四年正月、四月) (新御殿御広敷御用人)  
第六冊 日記(九) (慶応四年四月、七月) (新御殿御広敷御用人)  
第七冊 日記(十) (慶応四年八月、明治元年二月) (新御殿御広敷御用人)  
第八冊 日記(十一) (明治三年正月、二月) (新御殿内家局)  
第九冊 日記(十二) (明治三年二月、四月) (新御殿内家局)  
第一〇冊 日記(十三) (明治三年四月、六月) (新御殿内家局)  
第一一冊 日記(十四) (明治三年七月、一〇月) (新御殿内家局)  
第一二冊 日記(十五) (明治三年一〇月、十二月) (新御殿内家局)

尾一一六 會計御用留 (明治三年) (會計權判事) 縦 二

第一冊 會計御用留 (一)  
第二冊 會計御用留 (二)

尾一二三 御開米御増益金取扱(留) (天保一一年) (御小納戸頭取) 縦 一

\*「尾州取立之分」「江戸取立之分」の項目で構成。

尾一二四 御増益金口割符控 (天保一二、元治元年) 御小納戸頭取 縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾一二五 御家中之輩初新御殿拝借金返上方根帳 (嘉永年間) 縦 一

\*中表紙に「御金奉行江御渡可相成根帳」とあり。

尾一二六 新御殿拝借金返上方取立調帳 (天保四、嘉永二年) 縦 一

尾一二九 新御殿拝借金百石式分之割等を以返上調帳 (天保七、明治元年) 縦 二

第一冊 新御殿拝借金百石式分之割等を以返上調帳 (一) (天保七、嘉永二年)

第二冊 〔新御殿拝借金百石二分ノ割等を以返上調帳二〕 (天保一一、明治元年)

※挟み込み文書あり。

尾一二九 新御殿御金筋訳立方等達留 (嘉永三、安政三年) 御城役懸 縦 一

尾一二〇 御利足金方拝借割符控 (天保一一、弘化四年) 縦 一

尾一二二 御目当金御勘定帳 (弘化三、嘉永三年) 縦 一

\*「壹ヶ年 金千貳百兩、但壹ヶ年金高壹ヶ月百兩宛之御目当を以、月々御買上代引去毎月差引御勘定仕、御残金銀有無共相認差上筈」とあり。

尾一二三 御用達町人年賦拝借金上納取立元帳 (文政六、慶応三年) 御城役懸 縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾一二三 御用聞町人江貸渡金取立控帳 (弘化三年) 縦 一

尾一二四 新御殿御殘金小出請取帳 (嘉永三年) 御小納戸頭取 縦 一

尾一二五 頭取衆江相納候諸御払物代金并御入用仕払殘金等書付 (天保一四年) 御小納戸詰組頭役懸 縦 一

## 番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一三〇 口帳金等上納帳

(弘化三年)

御小納戸詰組頭 役掛

縦 一

\*天保一二〜明治元年分。

尾一三〇七 江戸口帳拝借金賦元帳

(弘化二年)

御城役懸

縦 一

尾一三〇六 口帳等・定御供口・別段御内々口割符控

(弘化二年)

御小納戸役所

縦 二

\*挟み込み文書あり。

第一冊 口帳等・定御供口・別段御内々口割符控(一)

第二冊 口帳等・定御供口・別段御内々口割符控(二)

尾一三〇九 定御供口年賦元帳

(弘化二年)

御城役懸

縦 一

\*文久二年分までの記載あり。

尾一三〇 御広敷御内々拝借金人別元帳

(天保七年)

御広敷御用部屋

縦 一

\*「女中向拝借金元割符」「男子向拝借金元割符」「皆納并被下捨等綴入」の項目で構成。明治二年分までの記載あり。

尾一三二 御改正以来・御改正已前之分共 御内々借用金元帳

(天保二〜嘉永四年)

御座元御小納戸頭取

縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾一三三 別段御内々拝借金賦元帳

(弘化二年)

御城役懸

縦 一

\*明治二年分まで記載あり。挟み込み文書あり。

尾一三三 御内々拝借等取扱留

(弘化二〜慶応四年)

御小納戸頭取

縦 二

\*挟み込み文書多数あり。

第一冊 御内々拝借等取扱留(一) (弘化二〜安政四年)

※「口帳・定御供・別段御内々拝借返上金上納相立候人別帳」「御内々口・口帳・定御供口・騎射口上納金取立人別帳」「御側御内々拝借返上金引取方申達候人別帳」等の項目あり。

借返上金引取方申達候人別帳」等の項目あり。

第二冊 御内々拝借等取扱留(二) (安政四〜慶応四年)

※各年の「御側御内々拝借返上金引取方申達候人別帳」「慶応二寅年〆御増益并御内々口等拝借之輩御威引人別」等の項目あり。

尾一三四 御内々拝借取扱一巻

(弘化二〜元治元年)

役掛

縦 三

\*挟み込み文書多数あり。

|      |                                 |             |            |
|------|---------------------------------|-------------|------------|
|      | 第一冊 御内々拝借取扱一卷(二)                | (弘化二、同四年)   |            |
|      | 第二冊 御内々拝借取扱一卷(二)                | (嘉永元、同六年)   |            |
|      | 第三冊 御内々拝借取扱一卷(三)                | (安政元、元治元年)  |            |
| 尾一三五 | 御内々(様)拝借返上金元帳                   | (安政四年)      | 御小納戸役所     |
|      | *挟み込み文書あり。                      |             |            |
| 尾一三六 | 御内々拝借願等留                        | (慶応三、明治三年)  | 新御殿御用達     |
| 尾一三七 | 御内々拝借手形綴                        | (元治二、明治二年)  | 御小納戸役所     |
| 尾一三八 | 類焼之輩御内々拝借金割符留                   | (安政六年)      | 組頭役掛       |
| 尾一三九 | 類焼之輩拝借金手形留                      | (安政六年)      | 御小納戸役所     |
| 尾一四〇 | 御側御有余ノ内、無扨訳を以極内々拝借済割符控          | (天保一四、嘉永二年) | 新御殿御小納戸役所  |
|      | *挟み込み文書あり。                      |             |            |
| 尾一四一 | 御側御内々拝借金返上滞候付知行所并御藏米等ニ而引取方申達候別帳 | (天保一四、万延元年) | 役掛         |
|      | *挟み込み文書あり。                      |             |            |
| 尾一四二 | (御側江差上寄金ノ内御内々拝借返上元帳)            | (嘉永四、文久元年)  | 御小納戸役所     |
| 尾一四三 | 御側御内々拝借返上金内印・江印・口印・騎射口いろは寄      | (江戸末期)      |            |
| 尾一四四 | 戸山御殿より引続候御内密金一卷                 | (元治元、明治四年)  | 御城広(敷)御用部屋 |
|      | *挟み込み文書あり。                      |             |            |
| 尾一四五 | 御大変ニ付御召服被下別段御入用金払帳              | (嘉永二年)      |            |
| 尾一四六 | 淡水御飼付御入用(留)                     | (嘉永六、文久三年)  | 役懸         |
| 尾一四七 | (大奥御入用御側上り金銀差上帳)                | (安政五、明治三年)  |            |
| 尾一四八 | (大奥御入用御側上り金銀請取帳)                | (安政五、明治二年)  |            |

| 番 号 表 題                         | 年月日                   | 差出(作成)↓宛所 | 形態・数量 |
|---------------------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 尾一三九 大奥御金廻高控帳                   | (元治二〜慶応二年)            | 御広敷御用部屋   | 縦 一   |
| *「御請所之部」「御広座敷之部」「御右筆間之部」の項目で構成。 |                       |           |       |
| 尾一三〇 寄物金借用調帳                    | (天保四〜明治三年)            | 寄物方       | 縦 三   |
| 第一冊 寄物金借用調帳(巻)                  | (天保四〜同五年)             |           |       |
| 第二冊 寄物金借用調(帳)                   | (弘化三〜同四年)             |           |       |
| 第三冊 寄物金借用調(帳)                   | (安政七・文久二・同四・慶応元・明治三年) |           |       |
| 尾一三三 寄物金請払帳                     | (文政六〜慶応二年)            | 御小納戸頭取    | 縦 二   |
| *挟み込み文書あり。                      |                       |           |       |
| 第一冊 寄物金請払帳(一)                   | (文政六〜天保八年)            |           |       |
| 第二冊 寄物金請払帳(二)                   | (天保六〜慶応二年)            |           |       |
| 尾一三三 寄物金当分納帳                    | (安政三〜同六年)             | 寄物方       | 縦 一   |
| 尾一三四 臨時寄物金(留)                   | (慶応四〜明治五年)            | 御広敷掛御用達   | 縦 一   |
| *「納之部」「払之部」の項目で構成。              |                       |           |       |
| 尾一三五 御側寄物金同帳                    | (弘化二〜同五年)             | 寄物方       | 縦 一   |
| 尾一三六 寄物金貸渡元請払帳                  | (文化五〜文政二年)            | (御小納戸頭取)  | 縦 一   |
| *「請取元」「払方」の項目で構成。               |                       |           |       |
| 尾一三七 御側寄物金貸渡元請払帳                | (文政二〜明治元年)            | 御小納戸頭取    | 縦 四   |
| 第一冊 御側寄物金貸渡元請払帳(一)              |                       |           |       |
| 第二冊 御側寄物金貸渡元請払帳(二)              |                       |           |       |
| 第三冊 御側寄物金貸渡元請払帳(三)              |                       |           |       |
| 第四冊 御側寄物金貸渡元請払帳(四)              |                       |           |       |
| 尾一三八 御側寄物金借用手形(帳)               | (文化一四〜元治元年)           |           | 縦 一   |
| 尾一三九 御側寄物金拝借手形帳(一)              | (天保一四〜明治二年)           | 寺社奉行      | 縦 一   |

尾一二〇 御側寄物金拝借手形帳

(文化五、慶応三年)

縦 一五

- 第一冊 御本丸番組頭・御本丸番井御城代組同心 御側寄物金拝借手形帳(芯) (文政四、慶応三年)
- 第二冊 二番大御番組 御側寄物金拝借手形帳(二) (文化五、慶応三年) (大御番組)
- 第三冊 式番大御番組 御側寄物金拝借手形 (帳三) (文化五、元治元年) (大御番組)
- 第四冊 三番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳四) (文化五、文久三年) (大御番組)
- 第五冊 四番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳五) (文化五、慶応三年) (大御番組)
- 第六冊 五番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳六) (文化五、慶応三年) (大御番組)
- 第七冊 六番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳七) (文化五、元治元年) (大御番組)
- 第八冊 七番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳八) (文化五、元治元年) (大御番組)
- 第九冊 八番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳九) (文化五、文久三年) (大御番組)
- 第一〇冊 九番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳十) (文久三、慶応三年) (大御番組)
- 第一一冊 十番大御番組 御側寄物金拝借手形(帳十一) (文久三、慶応三年) (大御番組)
- 第一二冊 壹番組 金鞍役 御側寄物金拝借手形(帳十二) (元治元年) 金鞍役 長谷川榮左衛門他八名 ↓ 御小納戸役所
- 第一三冊 五番別手方大御番組 御側寄物金拝借手形帳(十三) (慶応三年) 別手方 大御番組頭須賀重右衛門他二名 ↓ 御小納戸役所
- 第一四冊 壹番(二番) 御馬廻組 御側寄物金拝借手形帳(十四) (文化五、慶応三年) 御馬廻組 ↓ 御小納戸役所
- 第一五冊 一番(二番) 御馬廻組 御側寄物金拝借手形帳(十五) (文化五、慶応元年) 御馬廻組 ↓ 御小納戸役所

尾一二五 御側寄物金借用根極

(寛政一二、安政六年)

縦 三

- 第一冊 [表向御側寄物金借用根極一] (寛政一二、天保五年)
- ※「御宛行高江付借用之部」「未借用之部」「新々口借用之部」「畳上納之上再借用等之部」「御役儀江付候分并寺社之輩共別段借用之部」「家柄江付候別段借用之部」の項目で構成。
- 第二冊 [表向御側寄物金借用根極二] (文化四、安政六年)
- ※「芸術師範等江付借用之部」「明倫堂學生江付候借用之部」「返上金御宛行之内を以引取方并右之輩再借用等之部」「返上方御容赦筋之部」「触通辞初御側御用人江申達之部」「手形之部」「雜事」の項目で構成。挟み込み文書あり。
- 第三冊 [奥向御側寄物金借用根極三] (安政三年)
- ※「御宛行高江付借用之部」「畳上納之上再借用等之部」「御役儀江付別段借用之部」「芸術師範等江付借用之部」「返上方御宛行之内を以引取候輩并再借用之部」「返上方御容赦筋之部」「手形之部」の項目で構成。

尾一二六 御側寄物金借用調伺帳

(明治二年)

(御近侍 六等官内家属史)

縦 一



## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一四〇 御側寄物金御勘定帳

(安永六〜文化六年)

縦 二

第一冊 御側寄物金御勘定帳(一)

(安永六〜文化六年)

第二冊 御側寄物金御勘定帳(二)

(文化七〜天保八年)

尾一二六 御側寄物金納払御勘定帳

(慶応二〜明治元年)

縦 一

尾一二九 御側寄物金取立帳

(天保五〜明治三年)

縦 一

尾一二五 御側寄物金返上引取方人別帳

(天保五〜明治三年)

縦 四

\* 挟み込み文書あり。

第一冊 御側寄物金返上引取方申達候人別帳(一)

(天保五〜万延元年カ)

御小納戸役所

第二冊 御側寄物金返上引取方申達候人別帳(二)

(慶応二〜同三年カ)

御小納戸役所

第三冊 御側寄物金返上引取方申達候人別帳(三)

(明治二年)

御小納戸役所 内家局

第四冊 御側寄物金返上引取方申達候人別帳(四)

(明治三年)

内家局

尾一二三 御側寄物金名目ニ而鳥運上金ノ内方在京御用達江貸渡金一卷 但返上割符共

(慶応元年)

御小納戸役所↓御使番格在京御用達役  
並永田益衛・尾崎八右衛門

縦 一

尾一二三 前大納言様御出張ニ付御供之輩江御側寄物金被下捨取扱一卷

(元治元〜慶応四年)

寄物方

縦 一

尾一二五 御側寄物金部屋住之輩被下捨届一件

(明治二年)

縦 一

尾一二五 御側御入用御定金壹万両御仕払御勘定相立御有餘之分御預金高元帳(御側御入用金之内御預金高元帳)

(天保八〜嘉永三年)

縦 一

尾一二五 御側御入用御有餘金之内方当分取替出入帳 附御貸渡共(御側御有餘金之内当分取替出入帳)

(天保八〜嘉永三年)

新御殿組頭

縦 一

尾一二五 御側御有餘之内御下ケ利足上納并御貸渡等納払帳

(嘉永三年)

縦 一

尾一二五 御手許被進金御側上り金取扱留

(明治三〜同四年)

(御広敷懸家扶頭取)

縦 一

\* 本殿・橘御殿・柏御殿・松御殿等への御手許金削減についての留帳。

尾一三五 玄同様御側御入用小払帳 (文久三、慶応元年) 縦 三

第一冊 玄同様御側御入用小払帳 (一) (元治元年) 竹居新吉郎・石原六三郎・曲淵平三郎・村瀬斧三郎・浅野永十郎 ↓ 御勘定所

※文久三年正月、九月、一五、日分の書上。

第二冊 玄同様御側御入用小払帳 (二) (元治元年) 竹居新吉郎・石原六三郎・曲淵平三郎・村瀬斧三郎・浅野永十郎 ↓ 御勘定所

※文久三年九月、一六、日、一、二、月分の書上。

第三冊 玄同様御側御入用小払帳 (三) (慶応元年) 水野紆馬・竹居新吉郎・浅野永十郎・沢井小左衛門 ↓ 御勘定所

※元治元年分の書上。

尾一三六 玄同様御側御入用勘定帳 (文久三、元治元年) 縦 二

第一冊 玄同様御側御入用勘定帳 (一) (元治元年) 竹居新吉郎・石原六三郎・曲淵平三郎・村瀬斧三郎・浅野永十郎 ↓ 御勘定所

※文久三年正月、九月、一五、日までの書上。

第二冊 玄同様御側御入用勘定帳 (二) (元治元年) 竹居新吉郎・石原六三郎・曲淵平三郎・村瀬斧三郎・浅野永十郎 ↓ 御勘定所

※文久三年九月、一六、日、一、二、月分の書上。

尾一三七 尾州御囲金勘定帳 (文化二、同一三年) 御小納戸頭取 縦 一

\*「御本丸小太守御物置御直封御囲金之覚」「御本丸小太守御物置御囲金御預之覚」「御本丸小太守御物置別段御預之覚」「亥年御勘定所拝借金五万両返上覚」の項目で構成。

尾一三八 (御囲金小太守納金高帳) (嘉永四年) 御小納戸頭取 (中野清右衛門・松平甚之進) 縦 一

\*「新御殿御残金亥八月廿日御覧之上御直封相成候惣金高」とあり。

尾一三九 江戸表、御取寄相成候御囲金一卷 (文久三年) 御小納戸詰組頭 縦 一

\*「御囲金并御増益金元入調帳」「金銀為差登帳」「御囲金差引書付」「御囲金員数調帳」の項目で構成。

尾一四〇 御囲金取扱留 (元治元、慶応三年) 御小納戸詰組頭 御小納戸詰役懸 縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾一四一 当分取替帳 (天保八、安政元年) 新御殿役懸 御小納戸詰組頭 縦 一

\*挟み込み文書あり。

尾一四二 借用調帳 (寛政一、文化一三年) 縦 一

\*寛政一、二、三、年分の書上。

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一三六 拝借金願書留

(弘化元〜慶応四年)

役掛(御小納戸役所)

縦 二

\* 挟み込み文書あり。

- 第一冊 拝借金願書留(一)
- 第二冊 拝借金願書留(二)

(弘化元〜嘉永五年)  
(安政元〜慶応四年)

尾一三六 臨時金上納帳

(嘉永二〜慶応三年)

役懸

縦 二

- 第一冊 臨時金上納帳(一)
- 第二冊 臨時金上納帳(二)

(嘉永二年六月〜同七年七月)  
(安政二年二月〜慶応三年五月)

尾一三七 御年寄衆手形帳

(嘉永二〜慶応四年)

御小納戸役所

縦 一

尾一三七 (手形綴)

\* 挟み込み文書あり。

(天保一二〜元治元年)

御小納戸役所

縦 一

尾一三七 (手形帳)

\* 二冊合綴。「四ツ谷様」「御方々様」「御年寄衆但自分手形」「同列衆但同断」「諸役所」「御城代衆」「山村甚兵衛・千村平右衛門」「半蔵殿御預百人組」の項目で構成。

(文政九〜慶応四年)

(御小納戸頭取 御小納戸役所)

縦 一

尾一三七 御側金手形(帳)

(天保一五〜慶応三年)

地方御勘定所 御小納戸役所

縦 一

\* 四冊合綴。

尾一三七 御側御入用払町人手形綴

(明治三年)

内家局役所 新御殿内家局

縦 二

- 第一冊 御側御入用払町人手形綴(一)
- 第二冊 御側御入用払町人手形綴(二)

(明治三年正月〜七月)

\* 中表紙に「御側御入用払 金千八百八拾七兩貳分壹厘 銀壹匁五分八厘 町人手形三百六拾貳通之面」とあり。

尾一三七 御用達以下三季渡御切米手形御裏判済控帳

(天保一四〜明治三年)

御用達

縦 一

\* 挟み込み文書あり。

尾一三七 御切米之輩手形帳

(万延元〜明治三年)

御小納戸役所

縦 七

- 第一冊 御切米之輩手形帳(一)
- 第二冊 御切米之輩手形帳(二)
- 第三冊 御切米之輩手形帳(三)

(元治元〜慶応二年)  
(慶応二〜明治三年)  
(万延元〜文久元年)

|      |                                       |             |            |              |
|------|---------------------------------------|-------------|------------|--------------|
|      | 第四冊                                   | 〔御切米之輩手形帳四〕 | （文久元～同二年）  |              |
|      | 第五冊                                   | 〔御切米之輩手形帳五〕 | （文久二～同三年）  |              |
|      | 第六冊                                   | 〔御切米之輩手形帳六〕 | （文久三年）     |              |
|      | 第七冊                                   | 〔御切米之輩手形帳七〕 | （文久三～元治元年） |              |
| 尾一二七 | 知行之輩手形帳                               |             |            | 御小納戸役所 内家局役所 |
|      | 第一冊                                   | 知行之輩手形帳（一）  | （万延元～文久三年） | 縦            |
|      | 第二冊                                   | 〔知行之輩手形帳二〕  | （文久三～明治二年） |              |
| 尾一二八 | 御金達手形留                                |             |            | 御用達          |
|      | 第一冊                                   | 御金達手形留（一）   | （元治元～慶応三年） | 縦            |
|      | 第二冊                                   | 〔御金達手形留二〕   | （慶応三～明治四年） |              |
| 尾一二九 | 御次米請取手形留                              |             |            | 御城御広敷御賄所     |
| 尾一三〇 | 借用貸渡金元帳                               |             |            | 縦            |
|      | 第一冊                                   | 借用貸渡金元帳（一）  | （天保二～嘉永三年） | 縦            |
|      | 第二冊                                   | 〔借用貸渡金元帳二〕  | （嘉永四～明治三年） |              |
| 尾一三一 | 地並御入用之部（留）                            |             |            | 縦            |
|      | *「雑用」「小払」「日雇」「飛脚」「町人払」の項目で構成。         |             |            |              |
| 尾一三二 | 御払物代元帳                                |             |            | 縦            |
|      | *「上下御庭松等御払代御庭預りち上納」等の項目あり。屋敷関連費用の出入帳。 |             |            |              |
| 尾一三三 | 御上京御入用帳                               |             |            | 縦            |
|      | *「御手許金并預り金」「払」の項目で構成。                 |             |            |              |
| 尾一三四 | 為取替一札控之写 千代倉屋一巻                       |             |            | 縦            |
| 尾一三五 | 上野覚王院御預金証文願書等之写                       |             |            | 縦            |
| 尾一三六 | 御音信御金納払帳                              |             |            | 縦            |
|      | *「御入用納払」「御側上り之分」の項目で構成。挟み込み文書あり。      |             |            |              |

## 番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一三六 御沙汰品下調(帳)

未暮(江戸末期カ)

(御小納戸詰組頭 御庭預)

縦 一

\*「尾州之分御沙汰品下調」「尾州御手調之分下調」「御配下向御沙汰品下調」「未年御沙汰品下調」「江戸之分御沙汰品下調」「御手調江戸調」「江戸役所  
伺書号」の項目で構成。

尾一三六 御在国御沙汰品調帳

(安政三年)

組頭

縦 一

\*「頭取衆御手調之分」「組頭調之分」「辰年御沙汰品下調」「頭取衆御調之分」の項目で構成。

尾一三六 戸山取替金一卷

(文久元々明治三年)

役懸

縦 一

\*「取替金納払帳」「戸山御殿以来取替金根帳」の項目で構成。挟み込み文書あり。

尾一三六 江戸御畑元立金取扱留

(明治二々同三年)

御庭預

縦 一

\*「慶応二年寅八月 御庭御払物取扱留」を合綴。

尾一三六 御肴代金納払帳

(天保八々同九年)

縦 一

尾一三六 前大納言様御手許金納払帳

(文久二々明治九年)

新御殿御小納戸頭取 同詰組頭

縦 二

\*挟み込み文書あり。

第一冊 前大納言様御手許金納払帳(一)

(文久二々明治五年)

※「御手金納之部」「子春御在京中御手許上り金御預り之部」「払」の項目で構成。

第二冊 前大納言様御手許金納払帳(二)

(文久二々明治九年)

尾一三六 町人年賦返上金納帳

(安政三々明治四年)

御小納戸頭取

縦 一

尾一三六 寺社方利金口納払帳

(安政四々明治四年)

御小納戸組頭 御小納戸詰役懸

縦 一

尾一三六 年賦利金仕払帳

(天保一三々明治元年)

御城役懸り

縦 一

尾一三六 臨時金受払帳改

(文久四々明治六年)

御城御用達

縦 一

尾一三六 橘・松両御殿臨時金納払帳

(元治元々慶応元年)

御城御用達

縦 一

尾一三六 御離代金納払帳

(文久二々明治四年)

新御殿御広敷御用部屋

縦 一

\*中表紙に「元治元年子三月 大納言様御初御方々様々福寿江被進御納戸渡御離代金納払帳」とあり。「文久二戊年より始ル 大納言様御初御方々様々道姫  
様・豊姫様江年々被進候御離代呉服方御納戸を請取并仕払覚」「慶応二寅年 御離御道具等出来御入用金渡判帳」などを合綴。

尾一三九 地並御作事御入用金納払帳 申年(江戸末期カ) 縦 一

尾一三〇 御貸渡金仕払帳 (嘉永七〜元治元年) 横半 一

尾一三二 臨時金覚帳 (元治元〜慶応二年) 縦 一

\*「納」「払」の項目で構成。

尾一三三 諸役所金銀渡判帳 (文久三〜明治四年) 縦 二

\*挟み込み文書あり。

第一冊 諸役所金銀渡判帳 (一) (文久三〜明治四年)

第二冊 諸役所金銀渡判帳 (二) (明治元〜同四年)

尾一三三 知行御蔵米返上引取方解帳 (天保二〜文久元年) 縦 一

尾一三四 御家中之輩知行御蔵米御振替名前帳 (文政一三〜明治元年) 縦 一

尾一三五 諸達并後覽可相成取扱留 (嘉永五〜明治六年) 縦 一

\*「御側寄物金御貸渡方御改革之儀伺帳」「御側寄物金年延返上調伺帳」「御側寄物金借用方伺帳」の項目で構成。

尾一三六 別段御入用御勘定帳 (元治元〜明治五年) 縦 三

第一冊 別段御入用御勘定帳 (一) (元治元〜明治二年) 新御殿御用達 新御殿内家局

※中表紙には「慶応元丑年」とあり。

第二冊 (別段御入用御勘定帳二) (明治二〜同四年) (新御殿内家局)

第三冊 (別段御入用御勘定帳三) (明治二〜同五年) (御広敷懸 副家知事・同家扶頭取・家従)

尾一三七 御賄方廻物帳 (安政二〜同三年) 縦 一

尾一三八 女中人数相減勤向手張候付在勤之女中江被下候別段雑用 (慶応三〜明治三年) 縦 一

金一卷

尾一三〇 御本殿御側上り金根帳 (文久四〜明治二年) 縦 一

\*「伊藤次郎左衛門江預ヶ金証文等之部」「御側上り金払之証」等の項目あり。

尾一三二 (貞慎院様)御登以来別段入用留 (慶応四〜明治三年) 縦 一

\*中表紙に「柏御殿宝印」とあり。「慶応四年辰九月三日貞慎院様・鋤姫様上野村御林江被為成候御用留」「明治元年辰九月貞慎院様御初上野御林江被為

## 番号表題

年月日

差出(作成)宛所

形態・数量

成候御入用御勘定帳」「貞慎院様方建中寺源懿様御霊前江御備花之代御入用御勘定帳」「慶応四辰年貞慎院様御初建中寺御参詣別段御入用御勘定帳」「慶  
 応四辰年貞慎院様御初東懸所江被為成候別段御入用御勘定帳」「明治二巳年五月貞慎院様・鈿姫様熱田御社参一卷」「貞慎院様・鈿姫様熱田御社参別段  
 御入用御勘定帳」「明治二巳年長栄寺・建中寺御参詣江成瀬正五位殿御成御勘定」「明治二年巳九月貞慎院様・寿操院様・鈿姫様御事長栄寺江御参詣ニ  
 付取扱一卷」「明治二巳十月貞慎院様御始建中寺江御参詣一卷」「明治二年巳十月十三日貞慎院様・鈿姫様・成瀬正五位殿下屋敷江被為入候ニ付取扱一  
 件」「明治二巳年貞慎院様御始長栄寺・建中寺御参詣并成瀬正五位殿下屋敷江被為成候御入用御勘定帳」「明治三年貞慎院様・鈿姫様熱田并建中寺・  
 長栄寺へ御参詣御入用御勘定帳」「明治三年東京表御引弘大奥向御道具類船積ニ而御差登御入用御勘定帳下」の項目で構成。

尾一三三 男子拝借金根帳

(天保一五ノ慶応四年)

御用達

縦

一

\*慶応二年四月改とあり。

尾一三三 女中向拝借金引取元帳

(文久三年)

御城御用達

縦

一

尾一三四 女中向御宛行半減調(帳)

(明治二ノ同四年)

縦

一

\*中表紙に「御屋形分当巳年五三ヶ年之間女中向御宛行半減調」とあり。

尾一三五 内密金方出候男女御手当等一卷

(文久三年)

御用達

縦

一

尾一三七 二季薬種科取扱留

(弘化四ノ慶応二年)

御用部屋

縦

三

\*御簾中・貞慎院・利姫・鈿姫などの各御附女中の服薬調。

第一冊 二季薬種科取扱留(一) (弘化四ノ嘉永四年)

第二冊 二季薬種科取扱留(二) (嘉永三ノ安政五年)

第三冊 二季薬種科取扱留(三) (安政六ノ慶応二年)

尾一三八 不動尊賽銭記

(文久二ノ明治五年)

縦

一

尾一三九 金比羅宮賽物留

(安政六ノ慶応二年)

(役懸)

縦

一

\*挟み込み文書あり。

尾一四〇 金比羅宮御賽銭納帳

(万延元ノ明治五年)

役懸

縦

一

\*中表紙には「文久二戊年」とあり。

尾一四二 西京・東京御配下向等被下金書取

(明治初年)

縦

一

尾一三三 (從三位様御初御九方明治三年御入用御勘定帳下) (明治三〇同四年) (内家會計方) 縦 一

\*中表紙に「從三位様・從一位様・貞慎院様・於鈞様・於登代様・於富様・於良様明治三年年中御入用御勘定下」とあり。「新御屋敷地並御入用御勘定帳下」「地並御入用御勘定帳下」等の項目あり。

尾一三三 御用留 別段物御勘定一卷 (文久三〇慶応元年) 御城御広敷御用部屋 縦 四

第一冊 御用留 別段物御勘定一卷 (二) (文久三〇慶応元年)

第二冊 御用留 別段物御勘定一卷 (二) (文久三〇慶応元年)

第三冊 御用留 別段物御勘定一卷 (三) (文久三〇慶応元年)

※挟み込み文書あり。

第四冊 御用留 別段物御勘定一卷 (四) (文久三〇慶応元年)

※挟み込み文書あり。

尾一三四 職禄米・雜用米御扶持方等取調帳 (明治三年) 會計方 縦 一

\*「家令」「家扶頭取」「家扶頭取試補」「家扶昵近頭取」「家扶昵近」「家扶近侍」「侍医」「家從」「内家属吏」「内家給事」「内家御雇」「八雲隊隊長等」「内家支配御扶持方等」「八雲隊御扶持」「女中局之部」「御膳米」「諸隷」等の項目で構成。

尾一三五 内家御扶持米等渡帳 (明治二〇同三年) 會計懸 縦 一

尾一三六 職禄割渡本帳 (明治三年) 會計懸 縦 一

尾一三七 (職禄渡方小割但御雇共) (明治初年) (内家會計方) 縦 一

尾一三八 職禄一卷 (明治三〇同四年) 會計方 縦 一

尾一三九 職禄金渡帳 (明治三〇同四年) 會計懸 縦 一

尾一四〇 (村々御新田金大代官所於テ御引渡ニ付請取人差出方懸合書) (安政四・慶応元年) 小牧陣屋↓御小納戸役所 縦 一

尾一四一 (御新田金未納ノ分納方懸合書) (慶応元〇同三年カ) 縦 一

尾一四二 御利潤金千両口取立帳 (嘉永四〇明治七年) 御小納戸役所 内家方役所 縦 一

\*奥書に「文久二戊年新宝新田本地村成田儀兵衛江御弘上納帳」とあり。

尾一四三 御手許別段金主六百兩伊藤次郎左衛門江御預ケ相成候一卷 (安政元〇同六年) 御新田方 縦 一

\*「安政四年四月」とあり。



## 番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

尾一三三 護国院御私米代訳立一卷

(慶応二、同三年)

護国院

縦 一

尾一三五 江戸御囲米取扱留

(文化一〇、文政二年)

御小納戸頭取

縦 一

\*「江戸表御囲米之内四ツ谷御家御拝借成瀬家拝借取扱留 此分江戸取扱」「尾州取扱留」の項目あり。

尾一三六

日光御豫参御供之輩拝借返上分知行所并御蔵御納戸おい  
て引取方一卷

(天保一五、弘化四年)

御年貢地懸

縦 一

\*「辰暮引取之分 天保十五辰四月五日日光御蔵引取人別帳」「日光御豫参御供之節從御側拝借金御蔵引取人別帳」「日光御豫参御供之節從御側拝借金返上引取方申達人別帳」「日光御豫参御供之節從御側拝借金并御内々借用金共御蔵引取人別帳」「日光御豫参御供之節從御側拝借金并御内々借用金共知行所物成を以引取方根帳」の項目で構成。

尾一三七

日光御豫参御供之輩御新田金拝借年賦取立帳

天保一四年

御小納戸役所

縦 二

第一冊 日光御豫参御供之輩御新田金拝借式拾年賦口取立帳(一)

\*「表向之輩式拾ヶ年賦口」として一三八口分を記載。

第二冊 日光御豫参御供之輩御新田金拝借三拾年賦四拾ヶ年賦口取立帳(二)

\*「奥向之輩三拾ヶ年賦口」として五一口分、「安永度之御振合を以金奥限御内々拝借四拾ヶ年賦口」として五五口分を記載。

尾一三八

日光御豫参御供之輩御新田金拝借手形(留)

天保一四年

御小納戸役所

縦 一

尾一四〇

寺院町人等新御殿拝借金御金場拝借ニ御振替返上取立帳

安政三年

御小納戸役所

縦 一

尾一四二

竹腰兵部少輔殿・佐枝将監殿・鈴木弾正殿・中西筑前守  
殿度々旅行ニ付別段之思召を以拝借金取立帳

(嘉永元、明治三年)

御小納戸役所

縦 一

尾一四三

御入国御参府借用金元帳

天保一一年

縦 一

\*二代藩主徳川斉荘入国時のもの。

尾一四三

御入国御参府別段口引落元帳

(天保一二、安政二年)

縦 一

\*中表紙に「御蔵知行所共」「天保十二丑年四月」とあり。

尾一四四

御蔵引落元帳

(天保一四、明治三年)

寄物方

縦 五

第一冊 御蔵引落元帳(一) (天保一四、明治三年)

※名字「い」「な」の家臣分。

第二冊 〔御蔵引落元帳二〕 (天保一四、明治三年)

※名字「お」ゝ「な」の家臣分。

第三冊 御蔵引落元帳〔三〕 (天保一四、明治三年)

※名字「む」ゝ「す」の家臣分。

第四冊 御蔵引落元帳〔四〕 (文政八、明治三年)

※中表紙に「御徒格以下之部」とあり。

第五冊 〔御蔵引落元帳五〕 (嘉永元、明治三年)

尾一三〇 地方引取判帳

(文政五、慶応四年)

寄物方

第一冊 地方引取判帳〔二〕 (文政七、慶応四年)

※名字「い」ゝ「な」の家臣分。中表紙貼紙に「元治元子ヨリ」とあり。

第二冊 〔地方引取判帳二〕 (文政五、慶応四年)

※名字「む」ゝ「す」の家臣分。

尾一三〇 御容赦地方引取判帳

(文久元、明治元年カ)

寄物方

尾一三〇 御払物代一割渡判帳

(明治五年)

尾一三〇 調達金貸渡元帳

(天保五、同一年)

※中表紙に「但 根極とも」とあり。御小納戸詰、奥坊主等の調達金貸渡の元帳。

尾一三〇 子暮取立帳

(天保八、同一年)

※「亥子 子暮取立帳」「戌亥 子暮取立帳」「酉戌 子暮取立帳」の項目で構成。

尾一三五 辰巳午未暮取立帳

(明治元、同四年)

寄物方

第一冊 辰暮取立帳 (明治元年)

※「卯辰」(安政二、同三年)ゝ「巳午」(明治二、同三年)分。

第二冊 巳暮取立帳 (明治二年)

第三冊 午未暮取立帳 (明治三、同四年)

縦  
二

縦  
一

縦  
一

縦  
一

縦  
一

縦  
三